

広報

No.119

TABAYAMA 丹波山



大きな自然のポケットです。
山の山の手。丹波山村。

平成19年4月

編集と発行 丹波山村教育委員会 ■ 山梨県北都留郡丹波山村890 TEL ■ 0428-88-0211 FAX ■ 0428-88-0207
E-mail ■ info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL ■ http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



一枚の写真から…

3月15日（木）、晴れ。

待ちに待った丹波川ヤマメ釣りの解禁の朝。

この日を楽しみにしていた太公望、前夜から泊り込んでのお祭りです。

雪化粧をすることの多い解禁の丹波川。

今年は暖冬とはいっても、まだまだ冷たい丹波川の流れです。

村営つり場、そば処やまびこ庵、ローラーすべり台も同日オープン。

いよいよ、丹波山の春がやってきました。

主なもくじ

卒業式・卒所式	2～3
市町村合併を考える	3
新年度予算を見る	4～5
村議会3月定例会	6
お知らせ	7
村職員の人事異動	8
消防団任命式	8



▶お世話になった先生方、ご両親、そして大切な友だちと

おお、われら
理想の峰を越えてはばたく！

丹波中学校卒業式

3月13日(火)、晴れ。

丹波中学校卒業式が行なわれました。

丹波中学校の卒業証書授与式は、今年で60回を数えます。

インフルエンザの流行で、残念ながら出席できなかった卒業生もいましたが、これまで一緒に学んできた友だち、転校していった友だちも丹波を愛する気持ちは同じです。

希望を胸に、それぞれの道に向かい巣立っていきました。



▲出席できなかったけど心はひとつ。浩貴くんも陸上部部長として頑張りました(昨年秋の定期音楽祭にて)

【丹波中学校卒業生】

井坂ゆかりさん(高尾 俊英さん)

岡部 咲さん(奥秋 秀樹さん)

岡部登志子さん(鴨沢 康平さん)

橋詰 浩貴くん(高尾 昭人さん)

もうひとつの卒業式

3月9日(金)、晴れ。
やまびこ養護学校の卒業式が行われました。
昨年、丹波中から転校した木下潤くん(奥秋 浩一さん)も丹波の同級生より一足早く卒業証書を手に入れました。



▲別れのことは 卒業生代表の登志子さん

市町村合併を考える

Vol. 3

前回の広報3月号では、「合併のメリット・デメリット」についてお知らせしましたが、今回は「合併協議に関する基本的な流れ」について考えてみましょう。

市町村合併は、地域の将来や住民生活に大きな影響を及ぼすものであり、関係市町村の間で慎重に検討することが必要なため、進捗に応じて検討や協議を行うための組織が必要です。

まずは、合併の可能性について調査研究するための組織を設けて検討し、その方向性が明確になったところで合併の必要性や将来構想を検討するための「任意の合併協議会」を設置し、更に、そこでの協議が合意に至ったところで、「法定の合併協議会(法定協議会)」を設置して、様々な協議事項について具体的な検討を行うのが一般的です。

法定協議会とは、地方自治法及び合併新法に基づき、合併の是非も含めた諸々の事項を協議する場です。

設置の方法については、関係市町村議会で議決された場合か、住民発議から議会で可決、または否決後の住民投票により設置賛成が過半数を占めた場合において設置されることとなります。

設置までの過程は、取り組みの状況により多様な流れとなります。

この法定協議会の設置に至るまでには、議決のための規約案の策定や具体的なスケジュールの策定など、様々な事務が発生します。

その事務量も膨大なものになると思われ、この法定協議会の設置まで、第一段階の大きなステップであると考えられます。

合併構想研究協議会

合併に関する調査研究のための組織「丹波山村合併構想研究協議会」がこの4月に発足します。

この会のメンバーが決定しましたので紹介します。 ※順不同、敬称略

【行政代表】

坂本 求(副村長)

【村議会代表】

木下香奈子(議長) 岡部一喜(副議長)

【地区代表】

木下 勲(奥秋) 守屋保志(上組)

守岡登美子(中組) 河村春樹(下組)

田中廣光(高尾) 岡部岳志(押垣外)

河村栄子(保之瀬) 河村鈴子(東部)

【学識経験者】

月村芳信 廣瀬俊之

事務局は、総務観光課内に合併推進担当として、職員2名を配置しました。

【担当職員】

木下和彦 木下喜人

保育所卒所式



▲お母さんにありがとうの花束を

3月26日(月)、晴れ。
保育所卒所式が行われました。
保育所の修了証書授与式は、今年で32回を数えます。
歩ちゃん、広太くん、小学生になってもがんばってください。

【保育所卒所児】

船木 歩さん(保之瀬 和久さん)
大石広太くん(上組 太さん)



◀元氣いっぱい、お別れの歌

丹波小学校卒業式



▶小宮山先生を囲んで。笑顔が一番!

3月20日(火)、晴れ。
丹波小学校卒業式が行なわれました。
丹波小学校の卒業証書授与式は、今年で131回を数えます。
元氣いっぱい、7人の卒業生、4月からはいよいよ中学生です。
制服に身を包み、ちよっと大人っぽくなった君たちを見るのが、今から楽しみです。

【丹波小学校卒業生】

※写真右から

木下 光くん(奥秋 喜人さん)

岡部博喜くん(押垣外 豊喜さん)

橋詰光枝さん(高尾 修さん)

岡部真優子さん(押垣外 岳志さん)

白木成美さん(押垣外 孝郎さん)

岡部春奈さん(奥秋 秀樹さん)

三宮佑起くん(押垣外 正好さん)

一般会計 予算 11億7,100万円

より安全・安心な施設に向けて 保育所を建設



▲取り壊される保育所、ここからたくさんの丹波っ子が巣立った

新年度予算を見る

平成19年度の丹波山村一般会計予算は、歳入歳出とも11億7,100万円となりました。国・地方とも厳しい財政状況の中、新たな施策を予算化した結果、前年度に比べ0.6%の減額ではありますが、ほぼ前年度並みの予算額となりました。それでは、歳入歳出の主なものを見てみましょう。

歳 入

村 税
6554万2千円
前年度比 6.3%増額
皆さんに納めていただく村民税、固定資産税、軽自動車税のほか、たばこ税、のめこい湯の入湯税などです。今年度は、所得税から住民税、国から地方へ税源移譲されることにより増額となりました。

地方交付税
5億8000万円
前年度比 同額
村収入の大半を占める地方交付税ですが、新型交付税の導入により、交付額の減少が懸念されます。

分担金及び負担金
433万8千円
前年度比 19.1%減額
保育所の入所費や学校給食費の負担金などです。児童生徒の減少により、こちらも運営が厳しい状況にあります。

使用料及び手数料
410万5千円
前年度比 4.4%減額
村営住宅や山村留学住宅の家賃収入などです。

国県支出金

2615万6千円
前年度比 57.2%減額
国や県からの交付金です。負担金は福祉関係の負担金が主なもので、ほぼ前年度同様の予算額となります。補助金は前年度に林道舗装や水道施設整備などの建設費補助金がありましたので、今年度は大きな減額となっています。

繰入金
1億8815万8千円
前年度比 14.0%増額
財源不足を補うための基金からの取り崩しです。今後とも財源不足が続く、毎年度取り崩し続けると、基金残高が底をついてしまうのが懸念されます。財政調整基金の平成18年度末残高は1億3043万7千円ですが、予算どおり取り崩すと、平成19年度末には残高が3237万9千円程度になってしまいます。

繰越金
1500万円
前年度比 同額
前年度からの剰余金です。

村債
1億970万円
前年度比 5.2%減額
いわゆる村の借金、借入金です。今年度の借入予定は、保育所建設事業に充てる過疎対策事業債のほか、地方交付税の減収分を借入金で補う臨時財政対策債です。

諸収入
1億5745万8千円
前年度比 11.3%増額
都有林の立木に対する東京都交付金のほか、下水道管理に伴う交付金が増額されています。

歳 出

議会費
2276万9千円
前年度比 17.8%減額
議員定数が2名削減されることにより議員報酬・期末手当が減額となりました。

総務費
1億9215万9千円
前年度比 49.7%増額
戸籍のコンピュータ化の導入経費が主なものです。情報化、電子自治体の推進により、業務システムに係る経費などが増額されています。

民生費

2億1254万6千円

前年度比 47.9%増額

保育所の建設費、村社会福祉協議会への運営費補助金、後期高齢者医療制度の導入による経費が増額されています。

保育所の建設については、現在の施設は老朽化が進み、耐震問題も含め、子どもたちが安全で安心して保育できる新施設を建設します。

完成までの間は郷土民俗資料館の一室を使用することになります。

衛生費

6668万4千円

前年度比 10.7%増額

簡易水道会計への繰出金、上野原市へのごみ処理委託料が増額されています。

農林水産業費

4288万8千円

前年度比 72.6%減額

前年度に東部地区水道改修事業、林道大指線舗装工事がありましたので、今年度は大きな減額となっています。

今年度は、森林の維持管理のための国や県の補助金で、「サミットの森づくり事業」などの林業体験プログラムを実施していきます。

商工費

3540万7千円

前年度比 53.5%減額

前年度に貝沢遊歩道、山岳トイレ建設がありましたので、今年度は大きな減額となりました。

他にも水源の里会計への繰出金も削減されています。今年度はやさしく、わかりやすい観光案内看板などのサイン計画、温泉周辺への花木植栽などに取り組みます。

夏まつり丹波も7月29日(日)に実施することが決定しており、現在、実行委員会での内容について検討しています。

土木費

2億3109万1千円

前年度比 8.6%増額

県営事業の急傾斜対策工事への負担金、下水道会計への繰出金が増額されています。

消費費

5108万8千円

前年度比 9.7%増額

災害備蓄倉庫の設置と防災無線のデジタル化による経費が増額されています。

災害備蓄倉庫については、丹波地区と東部地区に各1棟設置し、いつ発生するかわからない大地震などの災害時に備え、非常食など必要な物資を備蓄します。

教育費

9352万4千円

前年度比 2.3%減額

学校管理経費など一般的な経費の削減がされていますが、児童生徒の教育振興に関する部分ではできる限りの配慮をしています。

今年度は小学校体育館の老朽化のため屋根の改修工事を実施します。

公債費

2億2034万2千円

前年度比 3.3%減額

学校建設時に発行した義務教育債など長期間返済の償還が終了したため、元金、利子とも減額となりました。

平成19年度末の未償還元金残高は、13億4089万9千円となる見込みです。

そのほとんどは過疎対策事業債など地方交付税に算入される有利な起債です。

平成19年度の主な事業

- 戸籍コンピュータ化 3,000万円
- 保育所建設事業 6,500万円
- 観光サイン計画事業 250万円
- 災害備蓄倉庫設置 800万円
- 小学校体育館屋根改修 800万円

特別会計
当初予算

■国保（事業）特別会計
1億 3,440万円
国民健康保険の運営
(前年度比 18.0%増額)

■国保（直診）特別会計
8,860万円
医科・歯科診療所の運営
(前年度比 8.2%減額)

■介護保険特別会計
6,666万8千円
介護保険の運営
(前年度比 5.7%増額)

■介護サービス特別会計
72万4千円
介護サービスの運営
(前年度比 24.8%減額)

■老人保健特別会計
1億 2,937万2千円
70歳以上の老人医療保険の運営
(前年度比 4.5%増額)

■簡易水道事業特別会計
2,436万円
水道施設の維持管理と施設整備
(前年度比 40.5%減額)

■下水道事業特別会計
5億 570万2千円
下水道施設の維持管理と施設整備
(前年度比 29.0%増額)

■温泉事業特別会計
1億 7,560万円
丹波山温泉のめこい湯の運営
(前年度比 8.8%減額)

■水源の里事業特別会計
3,030万円
つり場、そば処、すべり台など観光施設の運営
(前年度比 23.6%減額)

■奨学資金特別会計
400万円
高校・大学進学者への奨学金の貸付
(前年度比 20.0%減額)

■有線テレビ特別会計
600万円
有線テレビ放送・インターネット施設の運営
(前年度比 29.4%増額)

役場閉庁が5時30分に延長 歯科診療所が毎日診察します

村議会3月定例会

村議会の3月定例会は3月12日に開会し、15日に閉会いたしました。
審議された内容は、専決処分の承認1件、条例の制定1件、条例の改正10件、規約の改正及び廃止6件、平成18年度補正予算9件、平成19年度当初予算11件の計38件の議案が提出され、すべて原案のとおり可決されました。



◀ 舗装された林道大指線
マリコ川も水源保護のため禁漁区域に

■ 専決処分の承認

温泉会計の補正予算で、年末年始に実施した源泉管内の清掃費420万円です。

■ 一般会計

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ、505万7千円を減額しました。
それぞれ不用額の減額がほとんどですが、追加補正は次のとおりです。

【主な歳入】

地方交付税 2013万5千円

国庫補助金

繰越金 502万5千円
1122万円

【主な歳出】

後期高齢者システム導入費 1734万9千円

国保会計繰出金

701万円

老人保健会計繰出金

170万円

介護保険会計繰出金 284万8千円

■ 国民健康保険会計

国保会計補正予算は、歳入歳出それぞれ、1587万4千円を追加しました。
主な歳出は、後期高齢者システム導入費の978万4千円です。

■ 介護保険会計

介護保険会計補正予算は、歳入歳出それぞれ、400万4千円を追加しました。
主な歳出は、後期高齢者システム導入費の528万4千円です。

■ 副村長の定数

助役を廃止し、おく事ができる副村長の定数は1人と決まりました。

■ 職員給与条例の改正

人事院勧告に伴い、村職員の初任給基準と扶養手当の額が改正されました。

■ 役場の閉庁時間が5時30分に延長

職員の勤務時間に関する条例の改正により、休憩時間を廃止し、お昼の休憩時間を1時間としました。
これにより役場の閉庁時間が、5時15分から5時30分に延長になりました。

■ 衛生協力員の廃止

各地区の役員として消毒活動をしていただいております。今年度から廃止となりました。

■ グランド使用料が値下げされました

村民グラウンド、テニスコート、鴨沢グラウンドの使用料が4月1日から改正されました。料金は1時間あたり、テニスコートは1面1時間の料金です。

区分	村内者	村外者
村民グラウンド	日中 600円	800円
	夜間 1,600円	2,500円
テニスコート	日中 600円	800円
	夜間 1,000円	1,500円
鴨沢グラウンド	日中 600円	800円
	夜間 1,300円	2,000円

■ 歯科診療所 共同設置を廃止

歯科診療所では、これまで小菅村と丹波山村を交代で診察していましたが、この3月で小菅村歯科診療所が閉所することになりました。

このため、共同設置規約を廃止し、4月からは毎日が丹波山村の診察になります。
今後、デイサービスセンターやご家庭への出張検診、鴨沢出張検診なども計画中です。

お知らせ Information

■新しい おまわりさんです

山梨県警の人事異動で武井警部補の後任として丹波駐在所に中島清光警部補が着任しました。

中島さんは都留市出身の33歳、奥様の伸江さんと2歳の淳貴くん、10ヶ月の寛都くんの4人家族で丹波山に暮らします。

(総務観光課)



■ゆりの花、いっぱい 咲かせましょう

丹波山村環境美化推進協議会では、一昨年から定期的に村内一斉清掃活動を続けております。

今年度の第1回目は、のめこい湯駐車場周辺にゆりの球根3万6千個を植栽します。清掃活動同様、村民皆さんの参加をお願いいたします。

村外にお住まいの方の参加も大歓迎いたします。

当日は、鴨沢消防会館前を朝8時に送迎バスが出ますのでご利用ください。

【日時】

4月14日(土)

集合 午前8時30分

※予備日 15日(日)

【集合場所】

のめこい湯駐車場

【持参するもの】

手ガンナもしくは園芸用の小さなスコップ

※軍手は用意しております。

(総務観光課)

■スポーツ安全保険で 安心して体力づくり

スポーツ安全保険は、アマチュアのスポーツや文化活動ボランティア活動などを行う5名以上の団体に最適な保険です。

活動中に起きた事故の傷害や損害賠償責任を保障し、急性心不全や脳内出血などの突然死の見舞金制度もあります。

【お問い合わせ】

スポーツ安全協会山梨県支部

電話 055(243)3920

(教育委員会)

■犬の登録と狂犬病 予防注射を実施

昨年、36年ぶりに海外で犬に咬まれ帰国後に狂犬病を発症した人の報告がありました。

犬の飼い主には犬の登録と狂犬病予防注射が義務付けられています。

生後91日以上の子犬の飼い主は、飼い始めてから30日以内に役場住民生活課に登録して下さい。

村では、今年度の犬の登録と狂犬病予防注射を次のとおり行いますので、お近くの会場で済ませてください。

【料金】

新規登録と注射 6400円

継続登録と注射 3400円

(住民生活課)

■犬の登録と予防注射 4月18日(水)

会 場	時 間
奥秋(木下昇さん宅前)	午後1:00~1:15
高尾・押垣外(役場前)	午後1:20~1:40
保之瀬(船木力雄さん宅前)	午後1:50~2:00
東部(消防会館前)	午後2:10~2:15

■早期発見、早期治療 総合健康診査を実施

今年度の村民総合健康診査を実施します。

対象者は40歳以上の国民健康保険加入者と社会保険の本人以外の方となります。

【日時】

5月10日(木)

受付 午前8時~11時30分

※子宮がん検診は、6月14日(木)に実施します。

【会場】

交流促進センター

【個人負担金】

基本健康診査 1000円

腹部超音波検査 1000円

便潜血検査 600円

骨粗しょう症検査 600円

喀痰検査 1000円

胸部レントゲン検査 1000円

(40歳~64歳) 500円

(65歳以上) 無料

肝炎ウイルス検査 無料

(40歳~70歳) 700円

乳がん検診 800円

※子宮がん検診 700円

(20歳以上) 700円

(住民生活課)



思いやりの心 丹波小学校 児童会から

3月15日(木)、晴れ。

丹波小学校児童会から村社会福祉協議会にアシストシルバカー

2脚とエクササイズボールが贈られました。

丹波小学校が「助け合い運動」の一環として「人の役に立つことをしよう」と、全校あげて取り組んできたアルミ缶収集活動の収益金で購入したものです。

この活動は日本リサイクル協会からも感謝状をいただき、自分たちが直接働いた”思いやりの心”が、地域のおじいちゃん、おばあちゃんに届けられました。

村職員の人事異動

4月1日付けで村職員の人事異動がありました。

地方自治法の改正により副村長には、前助役の坂本求が就任しました。

会計管理者には総務観光課主任の芦澤泰士が任命されました。

昨年の4月に大規模な機構改革と人事異動を行ったため今回は比較的小規模なものとなりました。

合併に向けた組織の立ち上げとともに、総務観光課内に合併推進担当を配置しました。

【転任】

●総務観光課
副主査 木下和彦

(前 教育委員会)

【配置換え】

●会計管理者
主任 芦澤泰士

(前 総務観光課)

●住民生活課
主事 中村達也

(前 医科診療所)

●医科診療所
主事補 岡部順子

(前 歯科診療所)

【出向】

●教育委員会
副主査 木下武久

(前 住民生活課)

【採用】

●保育所
保育士 山崎智英子

※村職員全員の配置と担当は決まり次第お知らせします。

観光パンフレットがリニューアル!



村の新しい観光パンフレットが完成しました。「これ一冊あれば大丈夫!」といえるように、村内の観光スポットを中心に、お祭り・イベント情報、宿泊施設ガイドなど、最新の情報を満載しています。今回は新たに観光客からの要望が多かった「村全体の地図」を掲載しました。この地図は国土地理院の承認を得て作成したもので、登山・ハイキングコースや所要時間もひと目でわかる便利なものです。大きさも折りたたむと、タテ22.6cm×ヨコ11.0cmとコンパクトなサイズに仕上がっています。

丹波山村消防団任命式



◀ 橋詰修 新第一部長

4月1日(日)、雨。
郷土民俗資料館で丹波山村消防団任命式が挙行されました。
3名の新入団員が加わり、長年にわたり消防活動にご尽力された小林弘幸第一部長をはじめ、5名が退団されました。(順不同、敬称略)



◀ 退団者の皆さん、お疲れ様でした

【新入団員】

木下和彦 (再入団)
吉野一也 (再入団)
田中節男 (再入団)

【新幹部】

団長 船木昭和
副団長 岡部清
副団長 藤原貢
第一部長 橋詰修
第二部長 岡部隆一
本部付専任班長 木下武久
第一部専任班長 榎澤千代男
第二部専任班長 芦澤泰士

【退団者】

小林弘幸 (第一部長)
河村直樹 (第二部長)
木下喜人 (本部付専任班長)
岡部栄久 (第一部専任班長)
岡部茂 (第二部団員)